

エピソード

ドングリを使って遊んでいるところにいた赤ちゃんクモを潰してしまった子ども達。その様子を見ていたAくんが「人にも命があるように、虫にも命があるんだよ」とみんなに伝えました。周りにいた子ども達もAくんの言葉に「そうだね」と共感し、Aくん「生きている時に砂のところに置いてあげたら良かったんだよ」と言うと、「今度からそうするね」と話し、Bちゃんは「死んでしまったクモは畑の端に埋めてあげよう」と言い、みんなで埋めました。その後も「危ない虫は退治しないといけないけど…」「虫にも命があるから…」など、子ども同士で話をしていたため、クラスの話し合いで取り上げることにしました。

クラスでの話し合いでは…

(子ども…㉔、保育者…㉕)

㉔ 命って何? という疑問ができました。

- ・大事なもの
- ・傷つけられたら痛いもの
- ・宝物…命も宝物

いのちってなに?
だいじなもの
きずつけられたら
いたいもの
たからもの

㉕ みんなは、宝物をどうやって大事にする?
と、子ども達に尋ねてみました。

- ・自分を自分で守る(命)
- ・優しくする

㉔ 大事にするのって自分の命だけじゃないよ

- ・動物、絵本、虫
- ・地球に住んでいる人
- ・ごはん

など、出てきました。『ごはん』ということを知り、
「つくってくれてる人にありがとうって伝えな
いと…」と、話し始めた子ども達。Cちゃんが
「給食さんにお手紙書いてありがとうを伝えよ
う」と、みんなに伝えました。勤労感謝の日が近
づいていたため、『勤労感謝の日』のことも取
り上げることにしました。

㉕ 『勤労感謝の日』って知ってる?

と尋ねると、Dちゃん「感謝ってありがとうってこ
とだよ」とみんなに伝えました。㉔「勤労は働く
ってことね」と言うと「働いてる人にありがとうをす
る日」と話し、みんなで調理員さんや用務員さ
ん、お家の方に手紙をかくことにしました。

子どもの育ちや学び

ここに埋めてあげよう



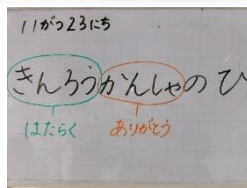
・虫にも命があることを伝え、死
んでしまったクモに優しく土をかけま
した。(思いやり、優しさ)

避難訓練の時も
命が大切ってお話をしたよ

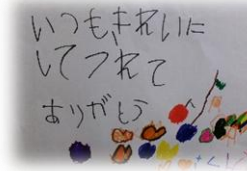


・命とは何か、大事にするにはどう
すれば良いかなど、互いの考えを
聞き、自分の言葉で思いを伝え合
いました。

(気づき、共感、伝え合い、考え、
思いやり、優しさ)



いつもおいしい給食
ありがとう



・ものや人も大切にすることとい
うことに気付く中で、食事をつくっ
てくれる人に感謝の気持ちを伝え
ることの大切さに気付きました。
(気づき、感謝)

・話し合いが進むと、服をつくる
仕事をしている人、おもちゃをつ
くる仕事をしている人などの存在
を知り、それを買うためにお金が
いることに気が付きました。お家
の方が仕事をしているから欲し
いものがと買えるということにも
気が付きました。(気づき、感謝)

保育者の思い

- ・日頃から命の大切さや人への思いやりの気持ちなどを伝えていましたが、子ども達からこの話が出たことで少し難しいかな? 早いかな? とは思いましたが、子どもから出た言葉を大切にしたい! 良い機会だ! と思い、話し合うことにしました。
- ・話し合いをしようとした時に、保育者が一方的に話す話し合いにはしたくないと思い少し不安な気持ちのスタートでしたが、「命っていったい何だろう?」という子どもの呟きを拾い、進めることで一人一人が思いを伝える話し合いになっていきました。
- ・命の話からごはんをつくってくれる人への感謝の言葉が出たため、丁度良いタイミングだと思い『勤労感謝の日』についても話題を広げていきました。

家庭だったら…

子ども達が命に目を向ける中で、自分の命を大切にするという言葉もたくさん出ていました。人への思いやりや優しさ、ものを大切にしようなど、子ども達が真剣に命や感謝に目を向け話し合う姿に、子ども達の心の温かさに触れることができました。子ども達からの「ありがとう」そして保護者の方からの「ありがとう」を大切にするエピソードなどありましたら、教えてくださいね。